

スタート助成金

10 日曜専攻科



サロン運営団体名称
茨城の専攻科を考える会

サロン開設年月日	平成 26 年 2 月		
開催日及び開催頻度	月 1 回 土、日曜日、祝日（午後 1:30～午後 3:30）		
開催拠点	守谷まなびの里、土浦三中公民館、つくば並木公民館 ほか		
代表者氏名	飯塚 忠		
1 回の参加人数	平均 10 人	1 回の運営スタッフ数	平均 3 人
参加費（1人1回あたり）	0 円 ※催事により実費負担有		



目的（趣旨）

- 障害児・者の自立支援と居場所づくり
- 障害児・者及びその家族支援を行うサロンの活動支援

生活課題への対応

- 不登校、引きこもりがちな青少年の居場所づくりで、地域社会参加を支援する
- 不登校・引きこもり傾向にある発達・知的障害児・者に居場所を作ることで、「学び」、「余暇活動」を通じ、自立を支援する。また、その家族の相談支援を行う

継続性

- 活動内容は、参加者の希望を大切にし、参加者同士の話し合いで決定する
- サロン活動から発展させ、自立支援活動を行う

財源の確保

- 参加者負担金
- 自治体や企業との協働を検討

内容

- 障害児・者の社会参加に必要な「学び」、「余暇活動」を通じた自立活動への支援
- 障害児・者及びその家族に対し、ボランティアティーチャーによる学習支援、スポーツ支援、余暇活動支援、子育て相談の実施

社会資源の活用

- 活動場所に地域の公共施設を活用
- 地域の居住している特別支援学校教諭との連携
- 茨城大学等の学生と連携し、地域毎にボランティアティーチャーを募り活動

先進性

- 県内初の試みであり、関東圏でも同様の取り組みは少ない
- 全国専攻科（特別ニーズ教育）研究集会を本県で開催し、広く県民に広報する機会を得た

PRポイント

- 障害者の多くは生活困窮者であり、併せて生活支援を行っている
- 生活支援や相談活動を通じて、就労支援、就労継続支援のための基盤づくりを行う

